

声

今回の学芸会では、多くのご来賓や保護者の方にご観覧いただき、また、演技後に配付したアンケートに協力をいただきました。子供たちの演技への称賛や教職員への励ましの言葉などをたくさんいただきました。以下に、その一部をご紹介します。

- 発表する子供たちがいきいきしていた。
- 一人一人を大切にしている姿に感銘。
- 地域性を大切に学校単位だけではなく地域の皆さんの協力もあって作り上げられてる事を感謝し、これからも続いてほしいと感じました。

以上のような感想の他に「地域の方が参加できるものはないか。」や「準備に少し時間がかかり過ぎでは…」など次回へのアドバイス、課題などのお声をいただきました。



10月19日(土)8時40分より令和元年度南三陸町立入谷小学校の学芸会が行われました。1週間前には台風19号の影響により入谷小学校の体育館が避難所となりました。この日も前夜からの雨が当日まで続き土砂災害が心配されました。しかし、子供たちやお家の方、地域の皆さんの願いが天に通じたのか時間通りに会を開くことができました。8時の開場を待ちきれず来てくださった方、自分の家の子供だけでなくビデオを録るお家の方々を見て入谷小学校の子供たちが地域に愛されていることを感じる一日となりました。その想いにこたえるような子供たちの熱演は、予定された終了時間を超えることになりましたが、最後の6年生の演目が終了するまで来賓の方々も最後まで残って見るほど見応えのある演技でした。上の写真は今年度初めて披露された全校合唱の場面です。どんな合唱になるのか地域の方々の真剣な眼差しが注がれているのがわかります。朝の時間に4月から歌い続けてきた美しいハーモニーを披露することができました。

ああ…ふるさとは今も変わらず



いりごみ通信

第11号 発行元 入谷小CS推進委員会編集部



ホームページへのQRコード

柿をむいて紐に通す作業をお家の方々と一緒に行いました。



木から枝ごと柿を落としました。その後、運びやすいように枝切りをしました。



二日目は、お家の方に手伝っていただき、皮をむく作業と柿に紐を通して吊す作業です。下の写真は作業後に撮った写真です。これからは、おいしい干し柿になるよう丁寧に管理していきます。



甘い甘い、柿になあれ！

10月24日(木)と25日(金)に3年生が総合的な学習の授業で「保存食の学習」のため干し柿作りに挑戦しました。一日目は、干し柿にするための柿の確保です。中の町の首藤ゆり子さん宅に行き先生方が落とす柿の付いた枝を加工しやすいように枝切り作業をして学校に運んできました。また、鈴木春光さんからたくさん柿をいただきました。



心が癒やされました



10月25日(金)5校時2年生が生活科の学習でフラワーアレンジメントを行いました。講師には菊栽培でもお世話になった水口沢地区の西城正人さんです。授業では花を丸く生けていくラウンドアレンジメントの方法を教えてくださいました。子供たちは中心となる花の周りを丸くかたどりながらきれいに見えるよう集中して取り組みました。どの作品も子供たちの優しい心を表すような美しいものができあがりました。

